

退職のご挨拶

私は、12年間務めた本校を、本年3月31日付で退職いたしました。

昭和56年に札幌から旭川医科大学病院に転勤し、日本最大の国立公園「大雪山系」の美しさに感激いたしました。患者様から旭川医科大学病院がある緑が丘という地名について「旭川で大雪山系が一番美しく見えるので、旭川市民が緑が丘と名付けたのだ」とお聞きしました。

ご縁があり退職後も、隣接する本校で勤務することとなり、この美しい環境で過ごすことができました。また、学生たちの笑顔や笑声に日々活気や勇気をもらいました。私が長く仕事を続けてこられたのも、この美しい環境や学生たち・教職員の方々のおかげと思っています。

本校に入学し、この緑が丘から見える美しい大雪山系の山々を見る機会を得られた学生たちは、「健康と幸福」を追求し、個々の人生と向き合い支援する素晴らしい仕事を選択したと言えます。今後も、この恵まれた環境の中で、学習と実践を重ね、充実した学生生活を送ることを祈念致します。

令和7年3月吉日 看護学科副校長 柏 静子

この度令和7年3月31日をもちまして15年の単身生活と北都保健福祉専門学校での仕事を定年退職することとなりました。

メーカーの営業職からご縁があり、学校事務に携わることとなり民間企業との勝手の違いなどなかなか環境に馴染めなかったりと自分との戦いの15年間だったような気がします。

今は、自分なりに前向きにやり切った満足感で一杯です。

入校してからの想いは、ご縁があったこの学校を定年退職で終わりたいとの目標を持っていたので、その目標が無事実現できた事大変嬉しく思います。これもひとえに皆様のご指導とご支援の賜物と心よりお礼申し上げます。

引っ越しなどに追われてしまい保護者の皆様や仲良くしていただいた在校生の皆様ひとりひとりにきちんとご挨拶をすることができなかった事が心苦しく感じておりますが、どうかお許し下さい。

今後は自宅のある札幌に戻り、少しだけのんびりと体を休めたのち、第2の人生が実りのあるものになるように計画を立てて食欲に色んなことにチャレンジしていければと考えています。

この15年間は長くもあり短くも感じる15年間でした。嫌なことや苦しいこともいっぱい経験したはずなのに、なぜか不思議と今は穏やかな気持ちで楽しい思い出だけが思い浮かびます。

皆様には、今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもちましてお礼かたがた定年退職のご挨拶とさせていただきます。

令和7年3月吉日 事務課長 一戸健二